

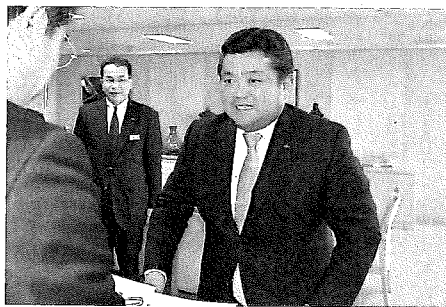
### 車いす寄贈し7年目 宮坂建設が市に3台

帯広市の宮坂建設工業は7日、市に車いす3台(23万4千円相当)を寄贈した。鉄くずなどの産業廃棄物をリサイクルし、車いすなどと交換できる民間の制度を活用した。

同社は社会貢献活動の一環として2008年から帯広、札幌、釧路の各市に毎年3台ずつ贈っている。取り組みは今年で7年目、寄贈した車いすは計63台となった。

この日、市役所を訪れた宮坂寿文社長は米沢則寿市長に目録を渡し、「二一ズ

米沢則寿市長に車いすの目録を手渡す宮坂寿文社長(右)



があるので永続的に取り組んでいきたい」と話した。車いすは市の学校給食共同調理場、馬の資料館、森の交流館・十勝で活用される予定。(池田大地)

### 寄付

◆宮坂建設工業帯広市、宮坂寿文社長が帯広市に車いす寄贈

宮坂社長(写真左)が7日、市役所を訪れ、米沢則寿市長(同右)に車いす3台(計23万4000円相当)を届けた。

同社は社会福祉の向上を目指し、2008年から本社のある帯広と支店所在地

の札幌、釧路の3市に毎年



3台ずつ寄贈。帯広市に同社が寄贈した車いすは、計21台となった。

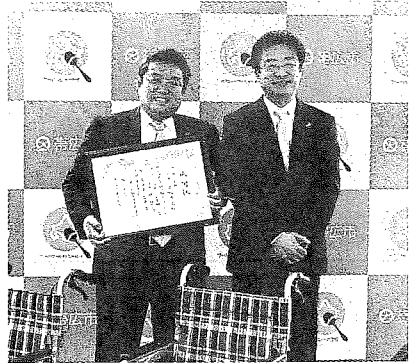
鉄くずなどの廃材を回収する業者のリサイクルポイント制度を活用し、車いすを購入。宮坂社長は「今後も寄贈を続けたい」と話した。米沢市長は感謝状を手渡した。

市は学校給食共同調理場、馬の資料館、森の交流館で貸し出す予定。

各企業等の社会貢献

宮坂建設工業が車いす寄贈  
ことしも帯広市へ3台を

札幌、釧路合わせ7年間で63台に



路市に車いすを寄贈。平成二十年から毎年実施しており、ことしで七年目となる。

【帯広発】宮坂建設工業(株)(帯広、宮坂寿文社長)は七日、地域貢献の一環として、帯広市に車いす三台を寄贈した。写真。市役所を訪れた宮坂社長が「今後も継続的に寄贈していきたい」と話し、米沢則寿帯広市長に目録を手渡した。

同社では会社や各現場で発生する廃品について、回収業者との間でリサイクルポイントを取り決める制度を活用。ポイントで車いすを購入し、帯広市をはじめ、支店のある札幌市と釧

を贈呈している。今後も引き続き、継続していきたい」と述べた。

この日の帯広市分と四月に贈った札幌市分、十六日の釧路市への寄贈分も含めると、七

路市に車いすを寄贈。平成二十年から毎年実施しており、ことしで七年目となる。このうち、帯広市への寄贈は今回を含め計二十一台となった。

帯広市役所で行われた贈呈式には、宮坂社長、長谷川雅毅常務らが出席した。宮坂社長は「廃品回収業者のリサイクルポイント制度を利用して、毎年、車椅子

帯広市へ贈る  
車いす3台

宮坂建設工業

【帯広】宮坂建設工業(本社・帯広)は七日、社会貢献活動の一環とし



て帯広市に車いす3台を贈った。

現場などで出た廃品のリサイクルポイントを活用して車いすを用意。本社のある帯広市と、支店を置く札幌、釧路の両市に、2008年から毎年寄贈している。

長谷川雅毅常務執行役員営業部長らと共に市役所を訪れた宮坂寿文社長が、米沢則寿市長に目録を贈呈し写真。その後、米沢市長から感謝状を受け取った。

16日に釧路市へ贈る分を含めた累計は63台、帯広市分のみでは21台に上る。宮坂社長は「待っている人がいるので、可能

な限り続けたい」と話している。